

2006 年度

科目名 基礎ゼミナール I A	対象学科・学年 人間社 1 回生	担当者 近藤 篤俊
授業テーマ 「情報活用能力」とは？		
授業の概要と目標 情報社会の進展に伴い、ペンと紙と電卓などの文房具などの文房具に代わり、パソコンや携帯電話などの情報機器を使うことが一般化しています。さらに、インターネットなどのネットワークを利用することによって、地理的に離れた、時間的にすれ違う人達がコミュニケーションを図ることが可能となっています。 これらの動向を踏まえ、大学生活に展開できる情報の活用方法と、「情報概論」について考えていきます。		
評価方法 出席状況に重点を置き、ゼミ時間内の発言や課題提出状況、演習態度等を含めて総合的に判断を行います。		
テキスト 別途指示します。	著者	出版社
参考書 別途指示します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (スケジュール・内容) 1. ガイダンス 2. 情報の活用とは？ 3. 情報の表現 － 1. 情報を文書化する。 － 2. 情報を視覚的に表現する。 4. 情報の加工 － 1. 目的にそって情報を加工する。 5. 情報の交換 － 1. 情報を収集する。 － 2. 情報を発信・伝達する。 6. まとめ (注意事項) ・ 各項目は0. 5～3時間で、演習を交えながら「具体的事例」とともにゼミナールを進める。 ・ 遅刻をしない事。遅刻者に対するチェックについて大変厳しく行っているので十分注意して下さい。 ・ ゼミナール前の予習（個人学習）で前もって不明・疑問点を明確にしてから演習に望むこと。 ・ 言われた事だけを行うだけではなく、ゼミナールの目的・理由・効果を毎回確認し、自由自在に応用展開が出来る様に、積極的な態度でゼミナールに望んでもらう事を期待します。 ・ 内容によって、他のゼミとの合同開講となる場合がある。		